

SBC 令和初陣！

SBC 3 対 8 某MS

令和2年10月31日、東邦スタジアムにてSBC対某MSの練習試合が行われた。

SBCにとつて約2年半ぶり且つ、元号が令和になって初めての練習試合となった。

初回に失点しそのままズルズル行くかと思われたが、粘りの投球を見せ、床島・富永が試合を作る事に成功した。

投手陣を何とか援護したい打撃陣であったが、毎回ランナーを出すものの、中々、打線が繋がらずスコアボードには0（ゼロ）が並んだ。試合後半に3点を取り返したが、一歩及ばず、令和初戦を白星で飾ることはできなかった。

チームMVP 河野

2年半ぶりの試合で唯一完璧な仕事をしたのが河野である。

打ってはチーム唯一の2安打。走っては盗塁を決め、その後、SBC令和初の得点を記録した。そして守っては安定感のあるショートの手備で観衆を魅了した。もちろんエラーなどしない。まさに「至集中」の活躍であった！

華麗なる守備 市村

それは突然訪れた！試合開始から数秒後、大きなフライがライトに上がった。これはこの試合を左右しかねない本場に大事なワンアウト目。人によつては「自分の所に飛んで来るな」と願うかもしれないものである。

しかし、市村にとつてそんなものは関係なく、今にも落ちそうな打球を横っ飛びで好捕！大事なワンアウト目をその左手でがっちり掴んだ！

チーム唯一の長打 興柁

「4番を打っていた」この情報は以前から我々の耳に入っていた。しかし、これが彼にプレッシャーになっていたのかもしれない。

そんなタレコミのあった新人の興柁であるが、試合終盤まで見せ場はほとんど無かった。

「野球ってこんなに難しいのか！」明らかに弱気になっていた。が、このまま「おしまいです」なんて絶対言わせない。迎えた最終打席、タイミングを合わせ打った打球は3塁線に芸術的な流し打ちとなり、この日チーム唯一の長打（2塁打）となった。

ダメでもまた立ち上がる。そして、ただでは決して起きない。彼の「倍返し」となる活躍はまだ始まったばかりである。

今回の総



試合序盤に得点出来なかった事が今回の敗因である。投手陣を早い段階で援護出来ていけば違う結果・展開になっていたかもしれない。

また、以前に比べ足を使った攻撃が極端に減っている。盗塁・ランエンドヒット・バント等を効果的に使うのも面白いと思う。

2年前とは体格が変わってしまったメンバーもいるが機動力を使った野球も見てみたいものだ。



打順	守備	氏名	打席	安打数	打点	四死球	出塁
1	二	西田	3	1	0	0	1
2	遊	河野	3	2	0	0	2
3	中	富永	4	1	1	0	1
4	捕	押川	4	1	1	1	2
5	投	床島	4	0	0	2	2
6	左	興柁	4	1	0	0	1
7	一	木原	3	0	0	1	1
8	三	(助っ人)	3	1	0	0	1
9	右	市村	2	0	0	0	0
		成合	1	0	0	0	0
		落合	1	0	0	0	0
		大野	1	0	0		1
		樋口	1	0	0		0

[試合結果]

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
SBC	0	0	0	0	0	1	2	3
某MS	1	0	2	0	5	0	0	8

[投手成績]

* 床島⇒富永

氏名	投球回	奪三振	失点
床島	3回	2	3
富永	3回	2	5

【☆マネージャー大・大・大募集中☆】

○仕事内容

試合風景の写真撮り・簡単な得点や安打数の記載

* 野球のルールが分からない方でも記入できる簡単な作業です。